

(公民館だより)

広報 ひがしの

No.143
2015. 1.15

人口 1,746 人
(男) 853 人
(女) 893 人
世帯数戸
613 世帯
(H27.1.1 現在)



三保の松原
李

水墨画による 三保の松原
楽しい墨絵の会 飯塚 正孝 画

阿木川ダム施設の一部で、東野で生産された農産物を預かって販売している「ふれあいりー」という店がある。東野地域の皆さんのご支援をいただき平成17年から始まってもう9年になる。今では、コーヒー、麺類やカレー等の食事とメニューを増やし、皆さんにご利用いただいている。

この食事テーブルの上にノートが置いてあり、お客様の待ち時間や食事の終わった後に、気ままに自由に感想や印象を書いていただいている。

「おいしかった」「桜がとてもすばらしい」など様々である。なかにはイラストなども書き込まれている。

それら書かれた文には、グループのメンバーが赤色のボールペンで 回答・コメントを書いていく。

ある日の欄、ややたどたどしい書体であるが「ダム湖カレー、ごはんがダムになっていてカレーが水になっていたよ。少しからかったけどおいしいかったよ。来年も〇〇にいつて、昼のごはんはここで食べてふんすいを見に来ます。」

しゅんき(ドラえもんイラスト入り)

後日、その時の様子を聞くと・・・やや障害のありそうな子供さん・・・ノットに書きたいというが、お母さんが「あんた無理やでやめなさい」子供さんは悲しそう・・・メンバーの人が気づいて「どうぞ書かせてあげて」と勧めると、喜んで一生懸命書いてくれたという。

少し待ってもらって、赤のボールペンで

「うれしいな、ダム湖カレーの様子を気づいてくれてありがとう。緑や赤の野菜は周りの景色をあらわしているんだよ。春の桜のころはもつときれいだよ。また見に来てね。じょうずな字やドラえもんのイラストに感激しました。」

と書いて持つていくと子供さんとお母さんが、嬉しそうに何度も読み返して「こんなことをしていたのは始めて」と、ていねいにお礼を言って帰られた。今でも、その時の嬉しそうな顔が浮かぶという。このように「ふれあい」を大切に続けられている。

今、この施設を「道の駅」に・・・という検討がなされている。

施設一体は水資源機構の所有物で、今は「ふれんどりー」が借りている

現状は、コンビニのように豊富な品はなく、レストランのような豊富なメニューも無い、また各地の「道の駅」のような立派な建物でもない。それでも東野産の新しい農作物の販売とお客様との対面、対話を大切にする憩いの場として続けられている。

「道の駅」・・・どんな姿で、どんな人が、どのようにして・・・東野の観光資源としてどんな活用がふさわしいか検討がなされており、地域の皆様の意見と参加が望まれています。

※ダム湖カレー・・・恵那ではここだけのメニュー、ライスでえん堤の形を造り、カレーがダムにたまった水をイメージしている。

文芸

○花無山句会

市川 芳子
軒底生くる証や大根干す

内木 伊都子
冬晴れの四方を見渡す城の跡

西尾 美恵子
木枯に身を縮ませて山路行く

松本 はるか
街中市客もまばらや雪一日

千藤 恵三
風邪声の電話短く事足せり

○サークル短歌

鈴木 喜一郎
木曾山系奈良井宿の分水嶺

初冬の雨は定まらずふる
汗しみた麦わら帽子探す朝

がらえて又かぶろうと初夏

市川 茂子
ミシン出しズボンとエプロン縫い始む

稲刈作業に間に合わせねば
もみ袋重さがずしり腕に来て

次年の稲作減らすと決めぬ

赤尾 契夫
手の中になかなへび持ちて遊ぶ子と

馬籠の宿の坂を歩けり
あ・え・い・お・う母音を真似る子のごとき
毬(いが)を開きて実を集めたり

恵那市読書感想文コンクール

コンクールの趣旨

・子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。

・より深く読書し、読書の感動を文章に表現することとおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

平成二十六年度の同コンクールにて、東野小学校の二人の児童の方が入賞されましたので、紹介させていただきます。

小学校低学年の部

☆優秀賞 一年生 伊藤 温真

「たねってふしぎ」

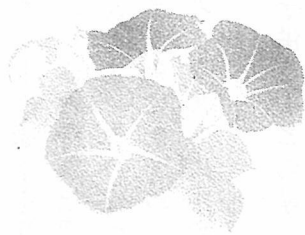
たねってふしぎだなあ。がっこうでまいたあさがおのたね。こゆびのつめよりもちいさくて、いしころみたいなくらいだね。めをだしてたとおもったら、たくさんのはがついたつるがぐんぐんのびました。きれいなほなもまいにちさきます。ふしぎだなあ。あのちいさなたねのなかに、どうやってはいっていったのかな。ぎゅってちぢこまっていたのかな。まるでたねのマジックみたいだともいえました。

このほんでは、たまごのからをうえきばちに、まめのたねをまいてじっけんしていました。まいにちひとつずつ、つちからまめをほりだしてみようと、どうやってまめが

そだっていくのかがわかるのです。たねがやぶれて、ねからでくるところなんてみたことがありませんでした。はやつるやはなは、たねのなかにかくれていたんじゃないかと、つちとみずとたいようのひかりがあるとうぐんぐんそだって、きれいなあさがおのはなをさかせるというひみつもしる事ができました。

ぼくのあさがおだってすごい。あさがおのつるとぼくのせいくらべをしたら、つるがかちました。はるにまいたたねが六さいのぼくよりおおきくなったなんて、ぐんぐんのびるスピードはほんとうにすごいです。おかあさんとたべたぶどうのたねは、ぜんぜんめがでなくて、もうだめかなとおもっていたら、つぎのとしのはるに、たくさんめがでてびっくりしました。おとうさんとまいたブロッコリースプラウトのたねは、三日でめをだしてまたびっくりしました。

たねってふしぎだなあ。ずっとつちのなかにいてゆっくりめをだすたねもあれば、すぐくはやくめをだすのもある。あさがおのたねからはあさがおが、ぶどうのたねからはぶどうがちゃんとそだっています。はなもくだものもやさしいも、どのたねもみんな、まちがえないでおおきくそだっていくからふしぎ。たねって、ほんとうにすごいな。



小学校高学年の部

☆優良賞 六年 山内 大悟

「カブトムシ山に帰る」を読んで

ぼくは、小さい時から虫が好きだった。特に、チョウ、クワガタムシ、カブトムシは好きで、夏休みの一研究で研究したこともある。アゲハチョウとカブトムシは、幼虫から飼育した。幼虫が葉を食べる時、サナギになる時は、すごくわくわくした。

父が小さいころカブトムシをとっていた秘密の木に、連れていってもらったこともあった。でも、四年生になるとスポーツ少年団に入り活動もいそがしくなり、時間があってもゲームをしたり野球練習をするようになっていた。

本屋でこの本を見つけた時、カブトムシ、久しぶりに見るなあと思って手に取った。何となくなつかしくて、この本で感想文を書くことに決めた。

この本を書いた山口進さんは、昆虫カメラマンをしている。二十年前、クワガタムシの図かんを作っている時、山で幼虫を探していると古くて固い朽ちた木から小さなカブトムシの幼虫は腐葉土の中にいるはずなのに、山口さんは、この時からずっと不思議に思っていた。

図かんができてから山口さんは、山梨県の日野春という虫の王国といわれる町に移り住んだ。その雑木林には、オオムラサキ、シロスジカミキリ、スズメガなど、ぼくの知っ

ている虫がたくさんいた。カブトムシもすごく大きかった。

日野春は、落葉広葉樹林が多く四季があり、葉が落ちるので、堆肥作りも盛んでエサとなる樹液がたくさんあった。だからカブトムシには良い環境で、大きく育つことができた。

今から五十年ほど前までは、炊飯もだんぼうも風呂も全て、まきや炭を使っていた。だから虫たちが育つ絶好の場所になった。人々は、雑木林に頼って生活していたのに生活が近代化し、林の手入れをしなくなった。すると、虫が少なくなった。

山口さんは、理由を調べるうちに三センチぐらいの小さなカブトムシを見つけた。山口さんは林を再生させる活動をした。カブトムシは増えたけど、やはり小さかった、

ぼくが一番驚いたのは、樹液の出る仕組みだった。大きい木ほど樹液が出ると思っていたし、余った養分で出来ているとは思わなかった。なぜ、カブトムシが小さくなったのか解った時も驚いた。結局、人間が虫をふり回している。ぼくは、何かで読んだ『夜に鳴くセミ』を思い出した。人が動くと自然がこわれる。でも人が動かないことで林がこわれた。ぼくは、人間って本当に自分勝手だと思った。それでもカブトムシはたくましく、里山が消えても生き抜いて山へ帰っていった。元いた所に戻っていった。ぼくは、申し訳ない気持とカブトムシの強さに対する尊敬の気持でいっぱいになった。



第十二回下田歌子賞

今年のテーマは「ふるさと」
サブテーマ ふるさとへの想い、魅力、心の中のふるさとなど

12月13日(土)に表彰式と記念イベントが開催され、短歌の部にて東野地域の方が2名入選されたので、入選作品をご紹介します。

小学生の部 伊藤 栄貴(3年生)

「ぼくの家 春はきみどり 夏みどり

秋こがねいろ 冬真つ白だ」

一般の部 土方 紀代子

「楨ケ根を 超えれば雪の 山脈(やまなみ)が

お帰りなさいと 抱(いだ)きてくれぬ」

恵那市 市民三学運動

三つの柱

1. 読書のすすめ 2. 求めて学ぶ 3. 学んで生かす

柱1

読書は、私たちの知的好奇心を満たし、豊かな感性を育みます。そしてあらゆる学習のベースとなるものであり、古くから生涯学習の良き師、良き友でありました。また、読書は子どもにとっては、生涯学び続けるためのかけがえのない力となるものであり、家族みんなで取り組めるものでもあります。

中央図書館を学びの場、読書推進の核として、地域公民館や小・中学校、その他の学習機能とのネットワークを強化し、連携しながら、子どもも大人も高齢者も、生涯にわたって楽しく学ぶことができる「読書のまち」をつくります。

間伐体験

総合学習の時間の一環として、東野生産森林組合の所有林にて間伐体験を行いました。

当日は、始めに千藤組合長・県農林事務所の藤井さんから、森林の持つ役割や間伐の必要性などを教わり、間伐と枝打ちを体験しました。

始めてノコギリを持つ子もあった様ですが、何本か伐るうちに上手になりました。体験を通して、ふるさと東野の森林に関心を持ち、これからの自分たちが守り育てる想いを育んだ一日でした。



東野幼稚園 年末行事

クリスマス・お正月を前に、音楽に劇、お餅つきなど、みんなで楽しみました。

豊かな感性を育み、伝統行事を体験しながら社会性を養って行って欲しいと思います。

歌は楽しいな!



ぺったんぺったん
餅つきだ!



東野地域懇談会を開催

11月6日(木) 東野コミュニティセンターにおいて東野地域懇談会を開催しました。

今回は主要議題として「東野まちづくりアンケート」の結果を元に「地域公共交通」「農地荒廃対策」「空き家の現状及び対策」についての協議の後、個別質問による意見交換を行いました。



可知市長のあいさつ

地域主要課題

●地域公共交通について

「地域の足アンケート」により地域の皆さんのご意見を参考に東野地域協議会でも利便性向上や交通弱者支援を課題として協議を行い、昨年東野としては各自治会等地域内各所に停留所を設け、予約に応じて運行を行う「デマンド方式」を主体とした新たな公共交通計画を検討していただくよう市に対して報告を行ったが、現在どのような状況になっているのか？

また、多くの方が通院のためにバスを利用しているが、現在は恵那病院までは恵那駅から乗り継ぎが必要となるため、路線を延長できないか？

市の回答

ご意見に対する報告が遅くなってしまい申し訳ありません。市の地域公共交通計画においても小野川線は「一旦白紙とし、デマンド方式も含めた抜本的な見直しが必要」と位置づけており、現在交通事業者の協力によりデマンド方式の素案を策定しているが、予約受付の方法や停留所の検討によっては運行経費が増大するため、その部分を整理検証している状態であり、まとめ次第報告いたします。デマンド方式に決定した場合は、少しでも利用し易くなるよう、停留所の選定等について改めて皆さんのご意見をお伺いしたい。

公共交通を検討する中で路線の重複は最も不合理となるため、恵那病院への路線については乗り継ぎが基本と考えているが、実情を見ながら場合によっては見直すことも視野に入りたい。

●空き家の現状及び対策について

独居世帯・高齢者世帯の増加と共に、地域内においても空き家や管理されていない住宅が増加している。管理されていない住宅は雑草の繁茂等周辺環境に影響を及ぼすだけでなく、構造物の倒壊や防犯上の問題もある。市では空き家の状況把握をどのように行っているのか？空き家の増加に対する政策はどのようなものがあるか？

市の回答

空き家については5年に1度行う住宅土地統計調査によって調査しており、平成20年の調査結果では市内に約1,280棟の空き家があり、その内、市の現地調査の結果倒壊等の恐れがある危険建物が約20棟あることを把握しております。危険建物の対策については所有者の特定や、改善能力等の問題もあるため、本年度岐阜県で「空き家対策等対策協議会」を組織して国等と協議していただいている。空き家を増やさないための対策として、恵那市では平成22年度から「空き家バンク制度」により貸したい方と借りたい方の仲介を行っており、現在空き家103件、借りたい方292名の登録をいただいております、53件の契約に成功している。借りたい方が圧倒的に多く、希望に沿う空き家情報が提供できていないのが現状ですが、需要はあるため利用者のニーズに対応できるよう広く情報を集めたいため、皆さんのご協力をお願いしたい。

●農地荒廃対策について

少子高齢化等に伴い、東野でも耕作放棄地が増加しており、地域の農家もかんばっているが、高齢者が多く将来の展望も期待できない。このような問題に対して市はどのような政策を講じているか？また、耕作放棄地と人口減少対策として遊休農地の宅地化の検討もされるが、農業振興地域に指定されているところは宅地化に大きな規制がかかるため、必要な地域を定めて地域指定の解除等を行うことができないか？

市の回答

全市的な問題であり、様々な事業を行っているが思うような成果が得られていません。一方で今年度より農地と担い手の相互仲介を行うための「農地中間管理事業」を開始し、やる気のある担い手を募集したところ、現在 25 の個人・団体が手を上げていただいている。その他にも実情に応じた支援が提案できるかもしれませんので、不安があればまず農林課へご相談願います。農地転用については国の食糧確保の観点から法律で保護されているものであり、特に圃場整備区域の転用は非常に厳しい制限があります。ただ、東野全体として一帯を宅地化したいという総意があれば区域変更については前向きに捉えたいと考えておりますので、そういった計画があればご相談願います。

自由意見交換

●避難準備情報について

先月の台風接近に伴い、初めて「避難準備情報」が発令されたが、幸い大きな被害も無く安心した。市も熟慮の上で発令され的確であったと思うが、正直なところ突然の発令で驚きどのように対処したら良いか戸惑ったし、特に高齢者世帯や一人暮らしの方からも非常に不安であったという話を聞いた。地域・自治会としてもこういった際に高齢者や障がいを持つ人等の避難は？自治防災組織や消防団の活動は？ということを実際に考えておく必要があると痛感した。市として対策等のご意見があればお伺いしたい。



市の回答

避難準備情報には不安があったことと思う。今回の台風は夜中から明け方にかけて風雨が強くなると予報されており、午後 6 時に避難準備情報を発令しました。これは風雨が強くなる前に避難及び避難の準備を促すもので、特に高齢者や体の不自由な方はどうしても行動に時間がかかってしまうことから、自らの身を守る準備をしてくださいということです。昨今はいままでに無かった災害が多く発生しており、市としても人命第一の観点から、これからは避難準備情報や避難勧告を早めに発令する方針であります。避難支援体制等については市全体のものとは別に、東野の地域性・地理を踏まえた仕組み作りをみなさんの中で作っていただきたいと考えておりますのでご協力をお願いします。

その他、避難所に関することや、農地管理・子育て支援に関する事などについてのご意見があり、皆さん熱心に意見交換をしていただくことができました。

懇談会の具体的な議事録は現在作成中ですが、後日恵那市のホームページ上で公開いたします。ホームページを確認することできない方は東野振興事務所にて閲覧していただけますのでお気軽にご相談ください。

あけましておめでとうございます。

平成26年度の東野体育協会の行事は、東野住民の皆様のご協力をいただき、全ての行事が無事終わることができました。今後、行事へのご参加やご協力などご支援を賜りますようお願い申しあげます。また、当協会へのご意見やご提案もいただきました存じております。

さて、本年度の体協の活動を振り返ってみますと、3つの住民大会(マレットゴルフ、レクリエーションバレーボール、ソフトボール)とノルディックウォーキング講習会を実施することができました。

11月15日に行いました第4回ノルディックウォーキング講習会は、東野まちづくり委員会教育文化部会と共催で昨年度に引き続き開催いたしました。



ウォーキング講習会に参加された皆さん

公民館よりお知らせ

東野ふるさと作品展の開催について

恒例のふるさと作品展(書き初め展)を1月9日(金)～1月22日(木)まで、東野コミュニティセンターロビーにて開催します。

東野小学校全児童と東野在住の東中生徒の皆さんの力作を是非ご覧下さい。

乳幼児学級(すくすくクラブ)

入園前の乳幼児の親子を対象に、いろいろな体験や学習を通して、子育てを学んだり、仲間作りをしています。

現在、東野公民館では12組27名の親子が集い、楽しく学んでいます。新年度に向け、参加して頂ける親子の方募集中です。お気軽にお問い合わせ下さい。



合同乳幼児学級



栄養士さんと
楽しいおやつ作り

年末に、公民館の調理室を「虹の会」さん・市民講座「和食をつなぐ」の受講生の皆さん・子ども講座「わくわく手作りおやつ」の子どもさん達が、掃除と備品の整頓をして下さり、とてもきれいになりました。

ありがとうございます。

編集後書きに代えて

先日、インターネットを検索していたら、「川柳づくりでボケ防止」と面白そうな記事が載っていました。

ボケ防止には、他人との会話や頭を使うことが良いそうですが、会話には相手が要りますが、頭を使うことは一人でも出来ます。

そこで、気軽に出来る川柳を作って見ることで、頭もリフレッシュされ、心身の健康にも役立つようです。

・驚いた (惚) ホれると

(惚) ボけるは 同じ文字

心がドキドキするのが、「惚(ほ)れる」

ドキドキしなくなったら「惚(ぼ)ける」

そういえば、以前九十歳でとても元気な方に秘訣を聞いたら「色気」と一言でした。

以下シルバー川柳入選作を紹介します。

・誕生日 ローソク吹いて 立ちくらみ

・年重ね くしゃみするの命がけ

・「アーンして」むかしラブラブいま介護

・足腰を 鍛えりゃ 徘徊 おそれられ

・ボランテニア するもされるも 高齢者

他にも、おもしろ川柳として「サラリーマン川柳」など色々あります。頭の体操を兼ねて、チャレンジして見てはいかがですか。